

# 東書藝

令和4年4月

<http://www.toshogei.jp/>

## 第六十九回公募 東海書道藝術院展 開幕

会期：令和四年四月五日～十日

第一会場：愛知県美術館ギャラリー

第二会場：名古屋市民ギャラリー栄

煌めく陽光と穏やかな風に包まれて生命輝く季節。第六十九回東書藝展は華やかに幕を開けた。今展は第一会場・第二会場同時開催で、満を持して来場者をお迎えする。未だ収まらないコロナ禍に負けず、会員各々が全力で表現した書の世界をとくにご覧ください。



会長 風岡 五城

待ちに待った東書藝展の開幕です。

令和二年一月以来の新型コロナウィルス感染拡大が続く中においても、役員諸氏、並びに会員の皆様のご尽力・ご理解のおかげで一度も中止することなく、今年も盛大に本展が迎えられること、感謝の念と共に感慨ひとしおのものがあります。

ただ残念なことに祝賀会は東海三県の今日の感染状況の下での開催はやはり無理があるでしょう。せめて授賞式だけは十分

な感染対策を施して行うことで、受賞者の皆様のご努力に報いなければなりません。

今展の出品者の内訳をみると、院人のクラスが全体の約半数を占めるようになりました。院人は本会の母体となる存在ですから、その院人の作品の内容が会としての質の高さということになります。今回はこのクラスでの作品規格に多少の変更が行われました。作品の大きさや形は多様な作品制作の意欲を喚起する条件の一つです。その効果が

どのように現れるか楽しみです。また、来年は七十回という大きな節目の年を迎えます。会員の一人一人が今展の成果をふまえ、来たる記念展への弾みとなることを願っています。

大賞に沖賀青陽氏(豊田市)、準大賞には増田孝志氏(名古屋市)

### 第六十九回展 審査会

第六十九回展の審査会は三月六日・七日の両日、ウイール愛知三階会議室で行われた。新型コロナ感染のまん延防止等重点措置が未だ発令中の状況下で、対策が尽くされながらの審査進行となる。審査部を中心に各部担当者、賛助会員の表具店、アルバイトの諸君とも一丸となって審査の先生方をサポート、緊張の中、厳正な鑑別が続く。同点決勝も度々の後、七日午後、すべての受賞者が無事出そろった。

## 第六十九回東書藝展

## 各部受賞者名

## 会員の部

大橋 栄美

## 【中日賞】

水野 碧友

富永 奇伸

三苫 花風

石川 芙瑤

## 【県教委賞】

島崎 美楓

安藤由里子

## 【中日賞】

安藤 清舟・岩田 冬崖

## 【大賞】

## 【秀作】

駒田香代子

坂巻 春光

山田みつ椰

伊藤 陽子

小松 るか

舟木 樸風

沖賀 青陽

後藤 楊柳

## 【東書藝賞】

亀井 祥苑

## 【市教委賞】

春日井世思子

宮崎みゆき

## 【東書藝賞】

松浦 白碩・木村 大澤

## 【準大賞】

伊藤 聰雨

鈴木 萌園

梶野 光葉

## 【市教委賞】

服部 黄華

渡辺 栄子

近藤 秋香

安藤 餘香・伊藤 春魁

増田 孝志

浅野 玉麗

## 【推薦】

天木 良栄

## 【中日賞】

菅原 瑤華

梅林 香堂

高井 南岳

富永 奇昂

会友・公募担当

## 【知事賞】

大河内栄州

木村 昌次

大野 清泉

前田 翠華

西内 悠溪

八木 信江

村田侑里恵

水谷 紅楓・鈴木 紫舟

大山 湯泉

鈴木希代美

春日井康弘

山田 溪翠

## 【東書藝賞】

足立紀代子

谷本 愛香

橋田寿巳代

間瀬 清園・山本 晴城

## 【総領事賞】

黒宮 祥空

## 【特選】

小林 佳麗

前田 湖月

西本 康子

浅川 恵翠

橋口 智美

江口 雪華・勝田 晃拓

浦野 博夫

山崎 華風

毛利 天岳

牧野 友里

堀尾 象仙

高嶋 里奈

近藤 北明

吉井 春鈴

宮本 華楓・吉田 南洋

## 【中日賞】

牧 藍水

神杉 戀月

野呂 妙香

今村 香樹

近藤 恵月

浦野芽公美

加藤加壽子

※新型コロナウイルス問題のため、第69回展祝賀会は中止となりました。

## 【東書藝賞】

早川 光道

今村 香樹

今村 香樹

今村 香樹

今村 香樹

今村 香樹

今村 香樹

今村 香樹

## 【特選】

## 【市教委賞】

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

## 【特選】

## 【市教委賞】

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

## 【特選】

## 【市教委賞】

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

## 【特選】

## 【市教委賞】

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

## 【特選】

## 【市教委賞】

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

## 【特選】

## 【市教委賞】

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

## 【特選】

## 【市教委賞】

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

## 【特選】

## 【市教委賞】

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲

稲葉 畊雲



会場で審査をする先生方

## 審査員の先生方

(敬称略)

審査委員長

風岡 五城

会友・準会員担当

安藤 清舟・岩田 冬崖

谷口 竹城・西尾 邑城

松浦 白碩・木村 大澤

安藤 餘香・伊藤 春魁

富永 奇昂

会友・公募担当

水谷 紅楓・鈴木 紫舟

間瀬 清園・山本 晴城

江口 雪華・勝田 晃拓

宮本 華楓・吉田 南洋

渡辺 清香

令和四年一月二十五日(火)  
三十日(日)、名古屋電気

文化会館東ギャラリーで開催。すでに二年に及ぶコロナ禍で書作活動も多難な中、東書藝の代表作家としての自覚と誇りに溢れたエネルギッシュな作品四十五点が新春を彩った。外はまだまだ厳寒だが、会場内は落ち着いた時間がゆつたりと流れる。一作ごと丁寧鑑賞される来場者が多かったのがうれしく心に残った。

幹部作品を紹介していく  
と、**風岡五城**：一分の隙な  
く品格の高さこの上なし。

安藤清舟… 静動の対比、落款の調和が絶妙な行草作。

木村大澤… 四文字の響きあいが実にクールで引き込ま

れる。西尾邑城…行の中央が微妙に揺れて側款とのバランスが絶妙。伊藤春魁…

伝統の佇まいと現代性が見事にマッチ。王道を行く美しさと思う。  
松浦白碩：確

かな線条が動きに静かな落



「献寿」風岡五城



「為虎傅翼」 木村大澤

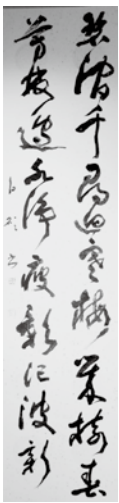
ち着きを内包する。水谷紅楓  
…大胆かつ繊細な筆使いで大  
きな構成が生きる。岩田冬崖  
…真似できない感性の表現  
は、流れ落ちる滝のようで爽  
快。尾関陶山…潤渇沔え立体  
的で生命力溢れる。谷口竹城  
…文字のデフォルメ自在に絵  
画的な雰囲気も。安藤餘香…  
温かみのある線条で包み込ま  
れるよう。墨色も美しい。山  
本晴城…疎密太細が生きて精  
密な造形。緊張感が溢れる。  
富永奇昂…切れ味と雅味が両  
立し、圧倒的な存在感が押し  
寄せる。(敬称略)



「劉禹錫句」 安藤清舟



「断而敢行鬼神避之」 西尾邑城



「錢允治詩」  
松浦白碩



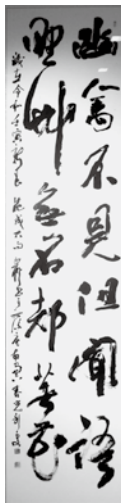
「万葉集の歌」 伊藤春魁



「凜然高節照時人」尾関陶山

出品作家

|      |       |      |
|------|-------|------|
| 風岡五城 | 安藤清舟  | 岩田冬崖 |
| 尾関陶山 | 谷口竹城  | 西尾邑城 |
| 松浦白碩 | 水谷紅楓  | 石川青崖 |
| 伊奈咏玉 | 大崎翠石  | 河合聚石 |
| 鈴木紫舟 | 羽根田葛橋 | 間瀬清園 |
| 本瀬芝青 | 木村大澤  | 安藤餘香 |
| 伊藤春魁 | 富永奇昂  | 山本晴城 |
| 浅岡桃苑 | 荒川青曠  | 有竹海山 |
| 井口清華 | 石黑鴻羽  | 伊藤南邨 |
| 井浪幸潭 | 岩本清蘭  | 内田箕山 |
| 江口雪華 | 大竹翠葉  | 荻野芝翠 |
| 加藤松亭 | 壁谷桔華  | 近藤春雪 |
| 柿田白蓮 | 志字一燐  | 增田一翠 |
| 松岡麗泉 | 三品芳翠  | 宮本華楓 |
| 村瀬田謙 | 吉田南洋  | 渡辺清香 |



「禪語」 岩田冬崖



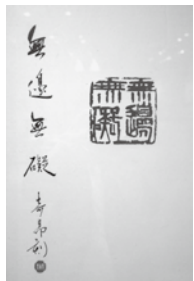
「李白詩」  
谷口竹城



「見賢思齊」 安藤餘香



「煙柳半眠」 山本晴城



「無邊無礙」 富永奇昂



# '22 こんにち 今日 の 書 展

令和四年一月十二日(水)

十六日(日)、愛知県美術館ギ  
ャラリーにて開催。書の伝統  
に根ざした「今日の書」を求  
めて、東海書道藝術院百十三  
点、以文会五十四点、玄玄書作  
院六十三点、書典社十五点の計  
二百四十五点が展示された。こ  
の書展が開かれると、ああ今年  
も始まったな…と実感する。東  
書藝の理念である「自由かつ大  
胆」は直ぐに浮かぶが、更に続

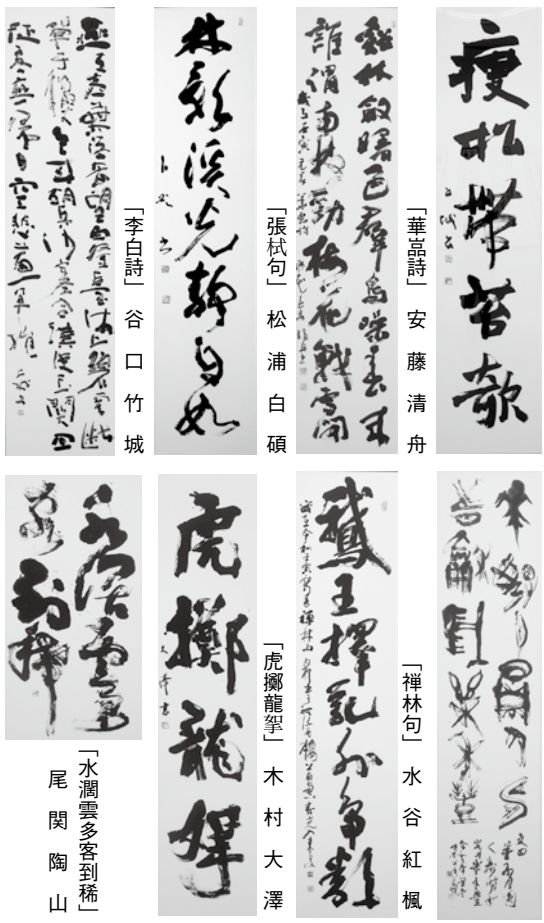
く「書の伝統性と現代性の両面  
を根底に置き」の部分であらた  
めて噛みしめたい。

主な幹部作品は、風岡五城：  
方筆の厳しさに動きと穏やかさ  
が相まって新鮮。安藤清舟：重  
厚で力強く圧倒的な存在感で迫  
ってくる。水谷紅楓：こちらも  
迫力ある一行書き。紙面から飛  
び出して動き出さんばかりだ。

松浦白碩：筆鋒自在に活躍して  
爽やかな草書作。谷口竹城：独

特の造形による揺らぎと墨量の変  
化が、奥行き感を醸し出す。西  
尾邑城：主となる金文の造形に  
感服。下部小字も生きる。尾関  
陶山：七字の草書作。自在な動  
きと豊かな量感が両立している。  
木村大澤：きびしい筆使いの中  
にホッとする温かさを感じるの  
は何故だろう。(敬称略)

見応えある作品は他にも多数。  
東書藝の力を存分に見せた。



「瘦如帶苦歌」 風岡 五城

「対句華好・時和」 西尾 邑城

「華富詩」 安藤 清舟

「禪林句」 水谷 紅楓

「張栢句」 松浦 白碩

「虎擲龍吟」 木村 大澤

「李白詩」 谷口 竹城

「水濶雲多客到稀」 尾関 陶山



## 第38回 花墨 会 展



松岡麗泉  
常任理事主  
宰、第38回  
花墨会展が  
令和三年  
十一月二十  
日・二十一  
日三重県菰  
野町図書館  
で開催され  
た。教室に  
通う五

九十歳の作品百六十点を展示。  
会員の力作に加え、中学生  
の屏風作品やゆかりのある書  
家、政治家の作品もある。「日々  
の修練、努力を積み重ねた筆跡

に魅力が  
ある」と  
松岡代表。  
地域に根  
ざした温  
かみを感じ  
る好展  
となった。



## 第55回記念 碩山書院一門展

令和三年十一月二十七日、二十八日の両日、蒲郡市民会館東ホールにて開催。半世紀を超える歴史を持つ同会の展覧は、伝統の品格と令和の現代性を感じさせ、更に学生部も充実して見事。益々のご発展を祈念致します。

### 55回記念展に寄せて

大竹翠葉

十一月二十七日(土)・二十八日(日)、蒲郡市民会館東ホールにおきまして第五十五回碩山書院一門展を開催させていただきました。

今回は五十五回の記念展ということで、指導者四名による連作、「臨張瑞圖西園雅集圖記」



代表の大竹翠葉氏



を展示しました。同じ課題に挑みましたが、それぞれの個性が光る作品になりました。

遠方より多くの先生方にもお越しいたいただき、盛会の裡に開催出来ましたこと、御礼申し上げます。

二度の開催延期を経て行った展覧会。出品者のマスク越しの笑顔が印象的でした。



## 第37回景雲社「絆」書道展

令和四年二月十四日～二十日、クリエート浜松ギャラリー35で開催され、勝田晃拓代表率いる四十五名、U23特別作品三



## 第16回 攻玉書会展

令和三年十二月二十五日・二十六日、豊田市民文化会館で開催。攻玉書会親交会(代表・羽根田菖橋参事)が三年



に一度行う書展は、東書藝の実力者が多く名を連ね一般部(百三十六点)から高校・中学・学生部まで

名が出品。それぞれの渾身の作品と勝田代表の「今、あなたは何を切る」、書と額装の

コーナー、琳明書道パフォーマンスの紹介など例によってセンス抜群の展覧で大いに楽しめた。



代表の羽根田菖橋参事

多彩な作品が見事に並んだ。同会の地域での確かな活動・書を通して人を育てるその指導力に毎回感服する。会場は沢山の来場者で盛り上がりつつあった。



## 第12回 有鄰書展

令和四年三月九日～十三日、岡崎市美術館で開催。代表の



安藤餘香代表と鈴木礼美氏

安藤餘香副理事長はじめ四十八名の会員作品、計五十九点が展示された。取材日は

来場者で、特に代表・幹部作品展示の壁面前ではカメラのシャッター音も絶えず、書を鑑賞する喜びの表情が溢れていた。「長いコロナ禍にあっても



会員の向上心・努力が嬉しいです」と安藤代表。益々のご発展を。

## 第21回 心書会展

令和四年三月十九日～二十一日、亀山市文化会館で開催。安藤清舟副会長率いる心書会員作品四十五点、学生作品が心地よく並ぶ。また特別展示として



拓本前で 安藤清舟代表（右）

張感ある会員作品と、代表が「自由に筆を運ばせた」とお話し of 楽しい学生作。充実した内容の展覧だった。



## 今後の予定

### ◇第63回新道書道会展

会期 4年4月29日(金)～5月1日(日)

会場 四日市市文化会館

主催 新道書道会(豆子柴甲)

### ◇第43回宏道書会選抜展

会期 4年5月10日(火)～15日(日)

会場 栄サンシティギャラリー

主催 宏道書会(山本晴城)

### ◇第64回游心書展

会期 4年5月10日(火)～15日(日)

会場 愛知県美術館ギャラリー

主催 游心書道会(松浦白碩)

### ◇第27回無名會書展

会期 4年6月14日(火)～19日(日)

会場 名古屋市民ギャラリー栄

主催 無名會(渡辺清香)

### ◇令和4年度東書藝総会

期日 4年6月19日(日)

会場 中電ホール

### ◇'22 心象展

会期 4年7月6日(水)～10日(日)

会場 愛知県美術館ギャラリー

主催 好日社(岩田冬屋)

### ◇'22「今日の書」代表作家展

会期 4年8月2日(火)～7日(日)

会場 栄サンシティギャラリー

主催 中部圏書芸作家協議会

中目新聞社

### ◇第38回清和会書展

会期 4年8月23日(火)～28日(日)

会場 名古屋市民ギャラリー栄  
主催 清和会(西尾邑城)

### ◇第48回宏道書展

会期 4年8月23日(火)～28日(日)

会場 名古屋電気文化会館

主催 宏道書会(山本晴城)

### ◇東書藝夏期研修会

4年9月場所、日程未定

### ◇第56回碩山書院一門展

会期 4年9月10日(土)～11日(日)

会場 蒲郡市民会館東ホール

主催 碩山書院(大竹翠葉)

全振興会

### ◇第25回東書藝選抜小品展

会期 4年9月13日(火)～18日(日)

会場 栄サンシティギャラリー

主催 東海書道藝術院

### ◇第40回記念飯田書人会展

会期 4年9月16日(金)～20日(火)

会場 飯田創造館

主催 飯田書人会(加山幽石)

### ◇第22回心書会展

会期 4年9月23日(金)～25日(日)

会場 亀山市文化会館

中央コミュニティセンター

主催 心書会(安藤清舟)

来年は70回記念展。心を一つにして頑張りましょう。

令和四年四月 第一四五号

発行 東海書道藝術院

編集 加藤松亭

堀江龍舟